

解明に向け再出発

官製談合疑惑

参議院選も満開に

“花冷え”とはよく言ったもので、3日はまだ寒気が残り、桜もつぼみが膨らんだところ。でも、彦根城金亀公園のしだれ桜の下だけは熱気で満開でした。日本共産党犬上後援会のお花見。チラシ寿司、おでん、みず菜のからし和え、全て世話人さんの手づくりで、舌鼓も会話も弾みました。この日のおまけが実にうれしかったのです。約50人の20代の若者と“花冷え”の取り持つ縁で私達のストーブに数人が暖を取りにきたことから、若者を前に川内さんが「正規労働が当たり前の社会を」とあいさつでき、交流も広がったのです。

【川内たかし氏のブログより】

3日は犬上後援会のお花見で彦根城へ。京町から城内へと花見会場の金亀公園めぐりしてお堀沿いの桜並木を歩きました。桜はまだつぼみがふくらんだところ、あと数日という感じ。でも時刻はお昼すぎで、どこも宴たけなわです。すると正面に1本だけ満開の桜が。その元集まった人たちが掲げるノボリは「比例代表は日本共産党」。桜の花とのマッチングは最高でした。甲良町議の西澤さん、豊郷町議の今村さん、鈴木さんや多賀町

の山口町議の奥さん・綾乃さんをはじめ、後援会の元気な皆さんと楽しいお昼を過ごしました。記念撮影のシャッターを隣席で盛り上がっている青年グループに頼むと、彼は「僕らも共産党を応援してます。さっそく西澤さん、松元さんたちと青年グループのところにおいて雇用問題に触れて挨拶。大学を卒業した研修生の皆さんと交流でき、あのノボリが引き立つ花見でした。翌日4日は大津の長等公園。ふしき県議、石黒市議をまじえて後援会の皆さんと交流。長等公園の桜は満開。参議院選挙も、この桜のように日本共産党支持の花が満開になるよう頑張ります。

満開の枝垂れ桜の下で川内さん



甲良町公共工事の入札にかかわる 官製談合疑惑等の調査経費に関する決議

地方自治法第100条第11項の規定により、甲良町公共工事の入札の事務等に関する調査経費は次のとおりとする。

記

調査経費

本調査に要する経費は、150万円以内とする。

【理由】

先の決議において調査経費は「予算の範囲内」としたが、調査に要する経費の限度額を明確に定めるものである。

調査費の限度額を明記
 【西澤議員の提案要旨】
 加えて一言提案理由を説明します。
 去る3月9日、いわゆる百条調査委員会を全議員の賛成で設置しました。しかし、私の勉強不足不勉強から、第5項の「調査経費」について、間違いではないものの、不十分さを残したものととなり、みなさんに色々とお手をかけてしまつことになりまし

地方自治法101条に基づき、藤堂一彦議員、木村議員、建部議員、西澤議員が招集請求し(去る9日の百条調査委員会の「打ち合わせ会」の確認に従い)、15日に臨時議会が開催されました。百条調査委員会を設置するに当たって、「調査経費」の限度額を明記する決議(左枠内)を建部議員ほか3議員の賛同を得て西澤議員が提出しました。調査権限に強制力を持ち、威力を発揮する百条調査委員会の設置は、甲良町はもちろん、県内でもほとんどなく、手探りで進むことになりそうです。

た。助言をいただいた方々には心より感謝申し上げます。
 この決議が可決しましたならば、官製談合疑惑の真相解明に向けて、具体的に動き出すこととなります。もつすでに今までの経過の中で、現にあらわれている問題点を洗い出し、解明してゆくことで、町民の付託に応えることができるものと確信しております。
 なお、「150万円」という金額は4月9日の「打ち合わせ会」での概算(がいさん)であり、あくまで、およその枠(わく)取りであり、調査内容の発展とともに必要となるものです。したがって、40万円を超す場合もあれば、百万円を超す場合もあります。議員諸氏の賛同を心から呼びかけるものです。
 同決議は15日、丸山議員以外の賛成で可決しました。(濱野議員は欠席の連絡)

甲良民報

2010年4月18日 444号
 発行責任：日本共産党甲良町支部
 代表：西澤伸明 甲良町在士 463
 Tel.Fax38-4949